



KIYO

FINANCIAL GROUP



ミニ・ディスクロージャー誌

平成24年3月期 営業のご報告

株式会社紀陽ホールディングス
株式会社 紀陽銀行

目次

■ ごあいさつ	1
■ 第3次中期経営計画	2
■ 決算ハイライト	3
■ 地域密着型金融の取り組み	6
■ トピックス	8
■ CSR活動	10
■ 財務諸表	14
■ ネットワーク	16
■ 株式情報	17

株式会社 紀陽ホールディングス

設立日	平成18年2月1日
所在地	和歌山市本町1丁目35番地
資本金	583億50百万円
事業内容	銀行等子会社の経営管理、 ならびにそれらに附帯する業務
上場証券取引所	東証第一部

株式会社 紀陽銀行

設立日	明治28年5月2日
所在地	和歌山市本町1丁目35番地
資本金	800億96百万円
店舗数	107店（和歌山県68カ店、大阪府36カ店） （奈良県2カ店、東京都1カ店）
従業員数	2,265名（出向者を除く）

※平成24年3月31日現在

※本冊子に記載している計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示しています。

KIYO FINANCIAL GROUP

紀陽フィナンシャルグループ



※平成24年3月31日現在

全国銀行協会相談室について

全国銀行協会相談室は、銀行に関する様々なご相談やご照会、銀行に対するご意見・苦情を受け付けるための窓口として、一般社団法人全国銀行協会が運営しております。ご相談・ご照会は無料です。

詳しくは、一般社団法人全国銀行協会のホームページ
<http://www.zenginkyo.or.jp/adr/>
をご参照ください。

銀行とのトラブルがなかなか解決しないお客さまは「あっせん委員会」をご利用いただけます。
詳しくは、全国銀行協会相談室にお尋ねください。

電話番号 **0570-017109** または **03-5252-3772**

受付時間 9:00～17:00（銀行窓口休業日を除く）

※一般社団法人全国銀行協会は銀行法および農林中央金庫法上の指定紛争解決機関です。

皆さまには平素より紀陽銀行をはじめ紀陽フィナンシャルグループをお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび「平成24年3月期 ミニ・ディスクロージャー誌」を作成いたしました。業績や第3次中期経営計画の概要、また、最近の取り組み状況などをまとめておりますので、ご一読いただければ幸いに存じます。

昨年度のわが国経済は、前半は東日本大震災による供給体制の毀損や電力供給の制約などから生産面を中心に弱い動きとなりましたが、その後サプライチェーンの立て直しなどから生産や個人消費などに持ち直しの動きがみられました。しかしながら年度後半には円高や原材料価格の高騰などから企業景況感には弱含みがみられました。

当社グループの主要営業地域である和歌山県・大阪府においても同様の動きがみられました。特に和歌山県では昨年9月の台風被害により交通網が一時的に分断されたことから、観光産業も大きな影響を受けました。

このような中、和歌山県内の工業団地への新たな企業進出計画や高速道路網の整備が進められるなど、今後の地域経済の発展に向けた明るい動きもみられました。

当社グループは、お客さまとの接点を強化するという方針に沿い、営業体制の強化や様々な金融サービスの提供に取り組み、収益基盤の中心となる地元企業の皆さまへの貸出金や住宅ローンおよび預金の残高が増加し、役務収益の拡大にも注力してまいりました結果、損益面では前期を上回る利益を確保することができました。平成24年4月には新たな中期経営計画をスタートさせました。お客さまから選ばれ続ける銀行を目指す姿勢に変わりはなく、これからもお客さまの満足を第一に考え、お客さまの良き相談相手として知恵を絞り、汗をかき行動してまいります。

また、今回の当社定時株主総会にて、自己株式（優先株式）取得枠の設定につきましてご承認いただきました。これは、平成18年に紀陽銀行と旧和歌山銀行が合併するに際して発行した優先株式（公的資金）のほぼ半分程度について、当社が株式会社整理回収機構から取得するための枠の設定であります。これを受けて、今後関係当局と協議を行いながら、当社の財務状況や株価及び経済動向等を総合的に判断し、適切に資本施策を遂行してまいります。皆さまには、引き続き変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月



取締役社長 片山博臣

第3次中期経営計画

平成24年4月より第3次中期経営計画をスタートしております。大阪府南部から和歌山県に強固な営業基盤を有する地域のトップ地銀となるべく、営業基盤である地元経済の成長を促す「強力なリレバン活動」を推進してまいります。

紀陽銀行の基本方針

目指すべき
銀行像

「お客様から選ばれ続ける銀行」

お客様の満足を第一とする心（ハート）を大切にし、お客様の良き相談相手として知恵（ブレイン）を絞り、汗をかき行動する（アクション）銀行を目指します。

第3次中期経営計画における主要テーマ

「大阪府南部から和歌山県に強固な営業基盤を有する地域のトップ地銀」への着実な変身

公的資金完済とその後の安定的な内部留保蓄積を可能とする収益力の確保

地域内での存在感を高め、営業基盤である地元経済の成長を促す「強力なリレバン推進」

主要戦略

- ①大阪府南部を中心とした営業基盤の強化
- ②顧客満足度向上に向けた営業体制の変革
- ③経営管理態勢の強化
- ④CSR活動推進等による存在感の向上

紀陽銀行単体		平成24年3月期 実績	平成27年3月期 計画
規 模	預金等期末残高	3兆5,155億円	3兆6,000億円以上
	うち個人＋一般法人の残高	3兆3,176億円	3兆4,500億円以上
	貸出金期末残高	2兆5,462億円	2兆6,000億円以上
	うちローン残高	8,988億円	9,300億円以上
収益性	投資信託期末残高	1,538億円	1,850億円以上
	コア業務純益	190億円	200億円以上
	コア業務純益ROA(コア業務純益÷総資産期中平均残高)	0.50%	0.50%以上
効率性	OHR(経費÷業務粗利益)	65.51%	65%程度
健全性	不良債権比率	3.58%	3.5%未満
紀陽ホールディングス連結		平成24年3月期 実績	平成27年3月期 計画
収益性	当期純利益	76億円	90億円以上
健全性	自己資本比率	11.63%	11%程度 ^(※)
	TierI比率	9.00%	8%以上 ^(※)

※自己資本比率、TierI比率とも平成27年3月期計画は公的資金(315億円)完済後ベースの値。

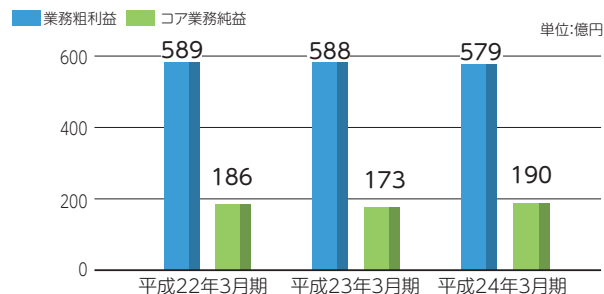
決算ハイライト

紀陽ホールディングス（連結）で、連結経常利益は前期比34億円増加の146億円となり、連結当期純利益は前期比9億円増加の76億円となりました。

損益の状況 紀陽銀行 単体

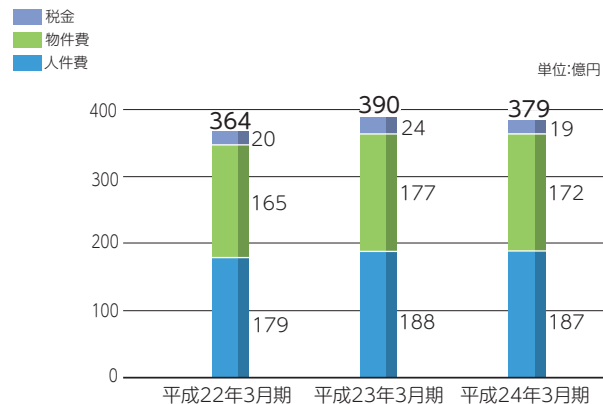
●業務粗利益・コア業務純益

業務粗利益は、国債等債券売却益が減少したことから、前期比9億円減少の579億円となりました。しかし、資金利益、役務取引等利益とも前期比増加となり本業の業績は順調に推移し、経費削減にも努めた結果、コア業務純益は前期比17億円増加し、190億円となりました。



●経費

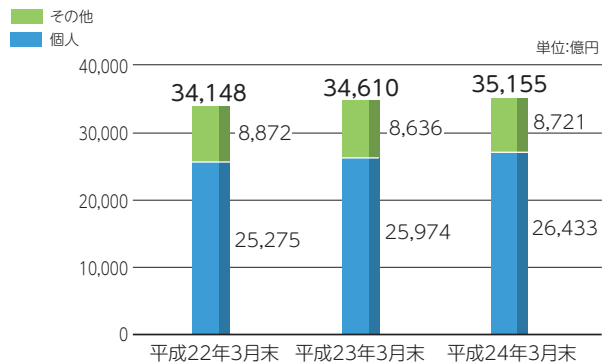
経費削減に努めました結果、経費全体では前期比11億円の減少となりました。



預金等の状況 紀陽銀行 単体

●預金等残高

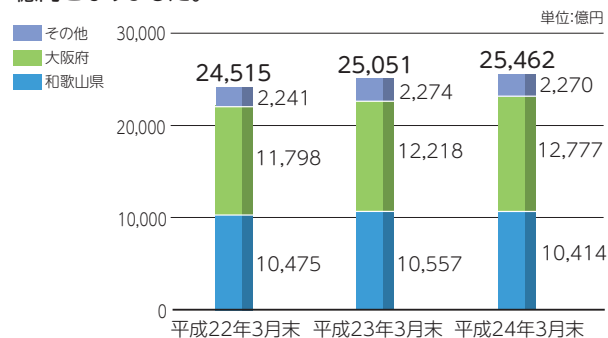
預金等残高は個人預金を中心に増加し、前期比545億円増加の3兆5,155億円となりました。



貸出金の状況 紀陽銀行 単体

●貸出金残高

中小企業向け貸出や住宅ローン残高が順調に増加したことから、貸出金残高は、前期比411億円増加の2兆5,462億円となりました。



決算ハイライト

自己資本比率

平成24年3月末の紀陽ホールディングス連結の自己資本額は、前期末比39億円増加し、2,078億円となりました。また、子銀行の紀陽銀行で貸出金が順調に増加したことにより、連結のリスクアセットは前期末比118億円増加しました。

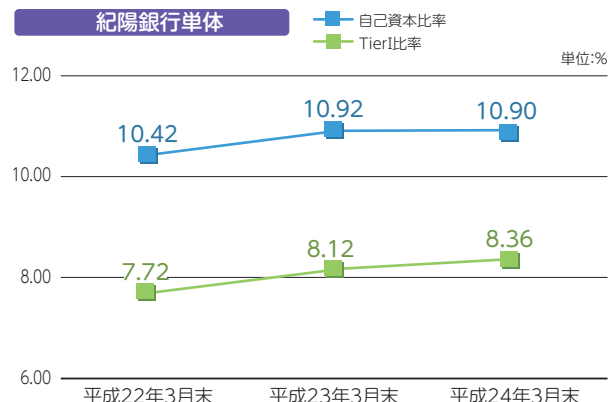
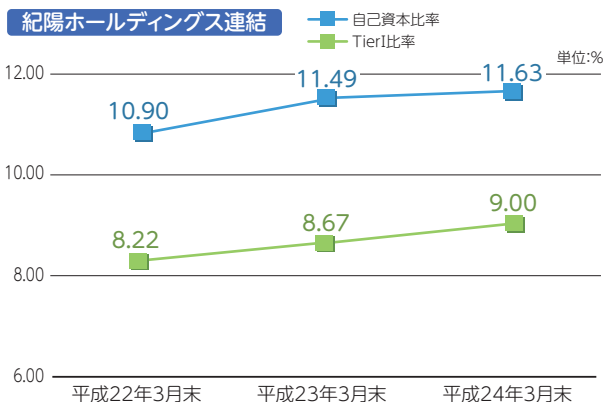
この結果、紀陽ホールディングス連結自己資本比率（第二基準）は、前期末比0.14%増加の11.63%となりました。なお、紀陽銀行単体の自己資本比率（国内基準）は、前期末比0.02%減少し、10.90%となりました。

※第二基準とは、海外営業拠点を持たない銀行持株会社の基準です。

国内基準とは、海外営業拠点を有しない銀行の基準です。

	自己資本比率	自己資本額	自己資本額		リスクアセット
			TierI	TierII	
紀陽ホールディングス 連結	11.63% (+0.14%)	2,078億円 (+39億円)	1,608億円 (+69億円)	469億円 (△29億円)	17,861億円 (+118億円)
紀陽銀行 単体	10.90% (△0.02%)	1,937億円 (+10億円)	1,486億円 (+53億円)	451億円 (△42億円)	17,766億円 (+128億円)

※()内は平成23年3月末対比

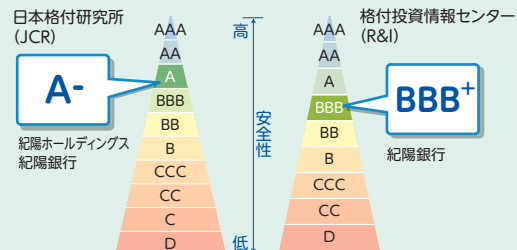


格付の取得

「格付」とは、第三者の格付機関が、銀行や企業などの「安全度」をランク付けしたものです。

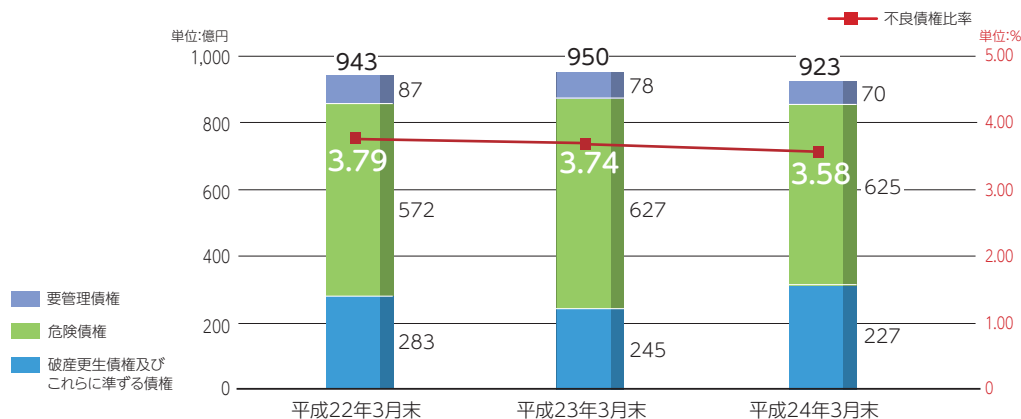
紀陽ホールディングスおよび紀陽銀行では、株式会社日本格付研究所(JCR)から、格付の上位に位置する「A-」を取得しています。

また、株式会社格付投資情報センター(R&I)より、「BBB+」の格付を取得しています。



不良債権（金融再生法開示債権） 紀陽銀行 単体

不良債権残高は前期末比27億円減少し、923億円となりました。不良債権比率については、引き続きお取引先の事業再生や経営改善支援への取り組みを強化しており、前期末比0.16%低下の3.58%となりました。



●不良債権の保全状況

平成24年3月末の不良債権総額923億円のうち84.5%は担保や引当金などで保全されております。

	債権額 ^(※)	保全額			保全率
		担保・保証等	引当額		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	227	227	207	20	100.0%
危険債権	625	518	408	110	82.9%
要管理債権	70	34	25	8	48.5%
合計	923	780	641	139	84.5%

(※) 貸出金、支払承諾見返、外国為替、銀行保証付私募債、貸付有価証券、仮払金等の合計。

なお、銀行保証付私募債については「金融商品に関する会計基準」の適用に伴い、貸借対照表計上額(時価)にて表示しております。

用語解説

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権

●危険債権

債務者が経営破綻の状態に至っていないが、財務状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権

●要管理債権

3ヵ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権

地域密着型金融の取り組み

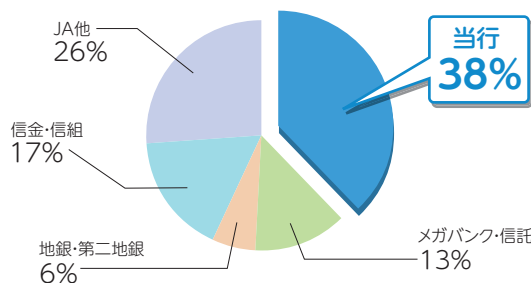
～預金・貸出金の状況～

現在、和歌山県内に68店舗、大阪府内に36店舗を配置し、両府県を主要な営業基盤としております。地域金融機関として、多くのお客さまによりきめ細かな対応とサービスを提供し、地域の皆さまの貯蓄・資産運用に関するニーズにお応えするとともに、企業や個人事業主の皆さまの資金需要に対し、円滑な資金のご提供に努めております。

預金・貸出金の和歌山県内シェア

和歌山県では預金、貸出金ともにトップシェアを維持しており、これからも地域のリーディングバンクとして地域の発展に向け、ますます重要な役割を果たせるよう努めてまいります。

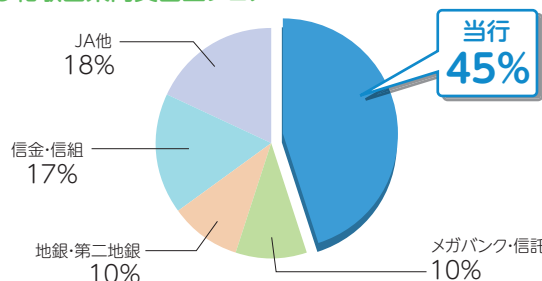
●和歌山県内預金シェア



※平成23年9月末現在 ゆうちょ銀行、政府系金融機関除く

また、大阪府においても預金・貸出金とも順調に増加しており、より一層有力な地元銀行として認めていただけるよう営業体制の強化をすすめてまいります。

●和歌山県内貸出金シェア

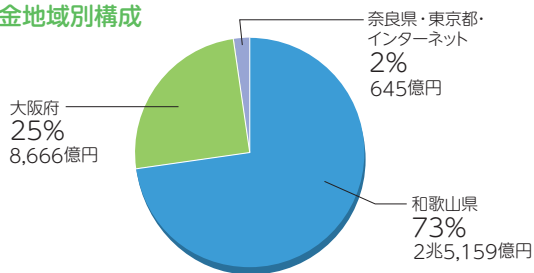


※平成23年9月末現在 ゆうちょ銀行、政府系金融機関除く

預金・貸出金の地域別構成

平成24年3月末の総預金残高（譲渡性預金を除く）3兆4,470億円のうち、98%の3兆3,825億円を和歌山県、大阪府の店舗にてお預かりしております。

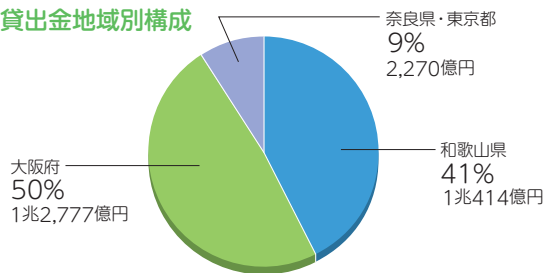
●預金地域別構成



※平成24年3月末現在

貸出金につきましても、和歌山県、大阪府の店舗での貸出金残高は2兆3,191億円となっており、総貸出金残高の91%を占めております。

●貸出金地域別構成



※平成24年3月末現在

紀陽フィナンシャルグループでは、経営課題解決に向けたお手伝いや成長支援、また地域のお客さまの利便性向上に向けた地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

経営のサポート

経営サポート体制

●経営改善のお手伝い「経営サポート室」

経営内容の改善に取り組まれているお取引先の改善計画策定や財務内容の改善に向けたお手伝いをするため、「経営サポート室」を設置しています。お取引先に応じた最適な改善方法を提案できるよう、営業店と一体となって取り組んでおります。

●海外ビジネス活動の支援「グローバル・サポート・デスク」

お取引先の海外進出ならびに外為業務に関する課題解決に向けた支援を強化するため、「グローバル・サポート・デスク」を設置し、お取引先の海外ビジネス活動における様々なニーズにお応えしています。



公的支援施策の活用

外部機関と積極的に連携することで地域経済の活性化に取り組んでおります。公的支援策の活用については和歌山県、大阪市、堺市の助成金についてお取引先向けに説明会を開催しています。



「紀陽 お城の前の相談室」

和歌山市役所東隣の紀陽和歌山中央ビル4階にある「紀陽 お城の前の相談室」では専門スタッフを配置し、投資信託や保険をはじめ年金、相続・遺言のご相談まで、ライフプランや家計に関するご相談に幅広くお応えしています。

また、外部講師や当行のファイナンシャルアドバイザーを講師として、暮らしに役立つセミナーを多数開催しております。

平日は午後7時まで、土曜・日曜は午後5時まで営業しておりますので、お仕事帰りや休日にもゆっくりご相談いただけます。ぜひお気軽に「紀陽 お城の前の相談室」をご利用ください。

受付時間、休業日、セミナー・相談会の日程など詳細につきましては、紀陽銀行本支店に備え付けの「紀陽 お城の前の相談室セミナー・相談会のご案内」または紀陽銀行ホームページをご覧ください。ハローサービスセンターへお問い合わせください。

●ハローサービスセンター 0120(037)389 (9:00~17:00 銀行窓口休業日を除く)



2017

10月
Oct.

インターネット投信の
サービス開始

10月より、お客さまのニーズにお応えするため、紀陽インターネット投資信託のサービスを開始し、インターネットを利用し、24時間365日お好きな時間に投資信託のお取引ができるようになりました。

紀陽インターネット
投資信託



和歌山大学、 和歌山工業高等専門学校で講義

11月には和歌山大学で、平成24年1月には和歌山工業高等専門学校で、「企業実践講座」として当行の役職員が講義を行いました。

和歌山県と連携した「産業人材育成支援事業」の一環として行っております。



和歌山工業高等専門学校での講義

2017

11月
Nov.

地方銀行フードセレクション

11月1日、2日の2日間、東京ビッグサイトにおいて「地方銀行フードセレクション2011」が開催され、当行のお取引企業15社が出展されました。

商談会やビジネスマッチングの機会を活用し、お取引先の販路拡大をサポートしております。



地方銀行フードセレクション2011

「ぶらくり丁謎解きツアー」の開催

11月26日、地域の将来を担う小学生に、地域に対する興味や愛着を持ってもらうことを目的に、小学生向けのイベント「ぶらくり丁謎解きツアー」を開催いたしました。

ご参加いただいた小学生には、地元の商店街を巡りながらクイズに取り組んでいただきました。当日は、ぶらくり丁商店街が子どもたちの声でにぎわいました。



ぶらくり丁謎解きツアー

合同企業説明会

地元企業にとって、人材の確保は重要な経営課題となっているものの、大手企業に押され、依然、厳しいものとなっています。このため、例年、和歌山大学、和歌山工業高等専門学校、大阪府立大学工業高等専門学校で行っている合同企業説明会を、新たに近畿大学生物理工学部でも2月に開催し、地元企業への就職機会を創出していくサポートを行っています。



合同企業説明会(近畿大学)

2012

2月

Feb.

「〈キヨー〉ふれあい倶楽部」 カルチャースクールの開催

2月に、6会場にて「〈キヨー〉ふれあい倶楽部」のカルチャースクールを開催いたしました。

年金受給者向けサークルの「〈キヨー〉ふれあい倶楽部」では、会員向けサービスとして
①加盟店での優待割引サービス
②著名人・芸能人を迎えての講演会・セミナー、カルチャースクールへの無料ご招待
③名産品プレゼント
などがお楽しみいただけます。



カルチャースクール

「第3回 自社商品売込み商談会in堺」の開催

2月21日、堺市産業振興センターにて、百貨店、スーパーマーケットなどの小売業者と、最終消費財を取り扱う地元企業との商談会が開催されました。

当行のお取引先を含め175社が来場し、商談が行われました。



第3回 自社商品売込み商談会

「事業承継セミナー」の開催

2月24日、中小企業経営者の皆さまのために「事業承継セミナー」を開催いたしました。

法人の事業承継には税法や民法の関係で思わぬ障害が発生することがあります。スムーズに事業を後継者に引き継ぐためのサポートを行っております。



事業承継セミナー

2012

3月
Mar.

中国ビジネスセミナー

「中国ビジネスセミナー」の開催

3月5日に、和歌山県とわかやま産業振興財団で実施している和歌山国際ビジネス交流サロンにおいて、中国でのビジネスニーズにお応えするための、「中国ビジネスセミナー」を実施いたしました。当行の職員もパネラーとしてパネルディスカッションに参加いたしました。



わかやま医工連携セミナー

「わかやま医工連携セミナー」の開催

3月12日、大阪梅田のヒルトン大阪において、「わかやま医工連携セミナー」を開催し、お取引先および高等教育機関教授など74名が参加されました。

お取引先の新規事業への進出をサポートするため、和歌山県立医科大学と連携して異業種交流を目的として実施しております。

紀陽フィナンシャルグループでは、環境保全や地域の美化活動に積極的に取り組んでおります。

ISO14001 認証取得

紀陽銀行では、平成13年3月に本店敷地内を対象としてISO14001の認証を取得し、また、紀陽フィナンシャルグループ全体としても環境に配慮した取り組みを行っております。

環境に関連した金融商品の取扱い

紀陽銀行では、ISO認証取得や新たに環境ビジネスに参入するなど環境に関連した運転資金や設備投資に対しての融資、ソーラーローン、エコ車両購入向けのローンなどのお取扱いを行っております。



地域の環境美化活動への参加

紀陽銀行では、創立100周年を機に平成7年6月に「紀陽銀行小さな親切の会」を発足させ、同時に社団法人「小さな親切」運動本部に加入しました。毎年、同会の活動の一環として、各営業店エリアにおける清掃活動や地元の催し物へのボランティア参加、献血への協力などの活動を行っております。

今後も、これまで以上に地元のお客さまのお役に立てるよう積極的に取り組み、地域づくりのお手伝いをまいります。



和歌山県「企業の森」事業

紀陽銀行では、環境保護活動への取り組みの一環として、和歌山県が森林の環境保全を目的として実施している「企業の森」事業に参画しています。平成18年4月より、和歌山県日高川町の「紀陽の森」において活動を開始、これまでに約3,300本の植樹を行いました。毎年、社内にてボランティアを募り、下草刈り活動を通じて森林の保全活動を行っております。



21世紀金融行動原則への署名

「持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則（21世紀金融行動原則）」は、環境省が事務局となり、日本における環境金融の拡大と質の向上を目的として、幅広い金融機関で構成される起草委員会により策定された行動指針です。

地域の金融機関として、当行が今まで取り組んでいる環境活動と行動原則が合致していることから、その趣旨に賛同して平成24年1月に署名を行いました。

これからも、更なる環境への配慮を行ってまいります。

環境にやさしい店舗づくり

紀陽銀行田辺支店では、内装に和歌山県産の檜を、ペンダント照明にはLEDを、浄化槽はペットボトルの廃材を利用したエコ製品を採用しております。また、屋上には太陽光パネルを設置し、年間13,376kwh（平成23年実績）の発電を行っております。これは、杉の木が1年間に吸収するCO₂の量に換算しますと約300本分に相当します。



環境活動を行う事業者さまへのご支援

紀陽銀行では、三菱東京UFJ銀行と「環境融資等に関する業務協力協定」を締結し、両行が連携して地域環境の保護ならびに環境事業の支援に積極的に取り組み、地域企業の発展・地域経済の活性化に貢献しております。

また、平成21年3月にはオリックス株式会社と「環境負荷削減支援事業」に関する基本契約を締結し、地元企業の皆さまにESCO事業をご支援しております。

※ESCO事業(Energy Service Company)とは

環境負荷低減のための設備および省エネ等の役務を提供する事業です。工場やビルの省エネルギーに関する診断をはじめ、改修工事、導入した設備やシステムの保守・管理にいたるまでESCO事業者が一括して管理し、省エネ効果を保証する仕組みです。

エコ販促品の利用

紀陽銀行では、店頭などでお客さまにお渡しするPR用頒布品に環境に配慮した商品を導入しています。例えば、再生紙100%のポケットティッシュや、使用後にそのまま古紙回収に出せるアルミキッチンホイル、蛍光増白剤・柔軟剤および塩素系漂白剤を使用せず環境に配慮した生産工程で作られたタオルなどがあります。



CSRレポートを発刊しています

紀陽フィナンシャルグループでは、当グループのCSR(社会的責任)活動をより多くの方にご理解いただくために、「CSRレポート」を発刊しております。当グループの活動全体を紹介するとともに、営業店での独自の取り組みも紹介しております。本誌は紀陽銀行の各営業店および関連各社に設置しておりますので、ぜひご覧ください。



紀陽フィナンシャルグループでは、様々な社会貢献活動に取り組んでおります。

財団法人 紀陽文化財団

紀陽コンサートの開催

紀陽文化財団設立以来の恒例行事として、毎年クラシック音楽のコンサートを開催しております。迫力あるオーケストラの演奏や一流の演奏者による室内楽コンサートなどを通じ、地域の皆さまに数々のクラシックの名曲を楽しんでいただいております。



美術館・博物館への無料ご招待

和歌山県立近代美術館・博物館で開催される特別展をはじめとした展覧会に地域の皆さまをご招待（ハガキによるお申込み、お申込み多数の場合は抽選）しております。

また、毎月第4土曜日を「紀陽文化財団の日」とし、和歌山県立近代美術館・博物館への大学生の入場料を負担し、無料としております。

スポーツを通じたCSR活動

バスケットボールの子ども教室(クリニック)

紀陽フィナンシャルグループでは、平成23年4月に女子バスケットボール部「紀陽ハートビーツ」を新たに設立しました。紀陽ハートビーツは日々のトレーニングに加えて、地元の小中学生を対象としたバスケットボールの子ども教室を開催しております。



これからも、地元可愛されるチームとして活動を行ってまいります。

「地元スポーツチーム応援定期」の取扱い

昨年度に引き続き、平成23年11月1日から24年1月4日まで、バレーボールVプレミアリーグに加盟する男子バレーボールチーム「堺ブレイザーズ（本拠地：大阪府堺市）」の応援定期のお取扱いを行い、地元スポーツチームを地域の皆さまとともにサポートしております。



各種大会への協賛・地域行事への参加

紀陽銀行は、「和歌山県綱引選手権大会」や少年野球大会、卓球大会などに協賛しております。また、「和歌浦ベイマラソン with ジャズ」の運営ボランティア派遣や和歌山市の夏の中心的なイベントの一つである「紀州おどり」への参加など、地域の各種イベントへの参加を通じ、地域の皆さまとの交流を深めております。



和歌山県綱引選手権大会



和歌浦ベイマラソン with ジャズ

障がいのあるお客さまへの対応

紀陽銀行では、目の不自由な方にも安心してご利用いただけるよう、すべてのATMに受話器型の音声案内装置を設置しております。

平成23年10月には、和歌山県視覚障害者福祉協会の研修会に、講師として紀陽銀行社員が参加し、ATMのデモ機を使って、目の不自由な方に実際にATMの操作体験をしていただきました。

また、耳が不自由な方の利便性向上のため、全店に耳マーク表示板とコミュニケーションボードを設置しております。



音声案内装置



音声案内装置付ATMの操作体験研修会

非常用電源車の導入

紀陽銀行では、平成23年9月に紀伊半島に甚大な被害をもたらした台風12号の影響により一部の地域で停電を経験しました。その経験を踏まえ、突発的な停電に対してもお客さまに継続して金融サービスをご提供できるよう、24年4月に非常用電源車（発電機を設置した一体型車両）を和歌山市に1台配備しました。これからも災害に強い金融機関を目指し、お客さまが安心してお取引していただけますよう努力してまいります。



認知症サポーター養成講座

高齢化社会が進む中、紀陽銀行では、行員が認知症に対する理解を深めることにより、認知症の方やそのご家族が安心して暮らせる社会づくりに貢献できるように、「認知症サポーター」を養成してまいります。



節電への対応

東日本大震災以降の電力不足に対応するため、紀陽フィナンシャルグループの総力を挙げて節電に取り組んでまいりました。今後も電力供給が不足する見通しであり、引き続き節電への協力を行ってまいります。

■夏の節電実績(全店での使用電力量の前年対比)

平成23年 7月	△12.9%
8月	△16.5%
9月	△19.8%
10月	△18.4%

■冬の節電実績(全店での使用電力量の前年対比)

平成23年12月	△15.1%
平成24年 1月	△13.5%
2月	△11.6%
3月	△10.1%

財務諸表

紀陽ホールディングス(連結)

第7期末 連結貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

単位:百万円

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	84,887	預金	3,440,024
コールローン及び買入手形	61,239	譲渡性預金	55,988
買入金銭債権	2,830	債券貸借取引受入担保金	84,206
商品有価証券	2,010	借入金	30,100
有価証券	1,069,148	外国為替	14
貸出金	2,539,253	社債	13,000
外国為替	1,865	その他負債	31,994
その他資産	43,589	退職給付引当金	29
有形固定資産	33,539	役員退職慰労引当金	32
無形固定資産	13,459	睡眠預金払戻損失引当金	700
繰延税金資産	17,053	偶発損失引当金	327
支払承諾見返	15,389	支払承諾	15,389
貸倒引当金	△ 29,424	負債の部合計	3,671,808
		(純資産の部)	
		資本金	58,350
		資本剰余金	64,605
		利益剰余金	45,748
		自己株式	△ 847
		株主資本合計	167,856
		その他有価証券評価差額金	12,802
		繰延ヘッジ損益	125
		その他の包括利益累計額合計	12,928
		少数株主持分	2,249
		純資産の部合計	183,034
資産の部合計	3,854,842	負債及び純資産の部合計	3,854,842

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第7期 連結損益計算書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

単位:百万円

科 目	金 額
経常収益	84,327
資金運用収益	59,305
(うち貸出金利息)	(45,561)
(うち有価証券利息配当金)	(13,438)
役務取引等収益	11,336
その他業務収益	10,517
その他経常収益	3,167
経常費用	69,661
資金調達費用	7,020
(うち預金利息)	(5,678)
役務取引等費用	3,901
その他業務費用	8,035
営業経費	41,442
その他経常費用	9,260
経常利益	14,666
特別利益	1,496
特別損失	108
税金等調整前当期純利益	16,054
法人税、住民税及び事業税	458
法人税等調整額	7,866
法人税等合計	8,325
少数株主損益調整前当期純利益	7,729
少数株主利益	127
当期純利益	7,602

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

■連結範囲および持分法の適用に関する事項

連結子会社は7社、持分法適用会社は0社であります。

連結子会社

- 株式会社紀陽銀行
- 紀陽リース・キャピタル株式会社
- 紀陽情報システム株式会社
- 株式会社紀陽カード
- 紀陽ビジネスサービス株式会社
- 株式会社紀陽カードディーシー
- 阪和信用保証株式会社

役員一覧(株式会社 紀陽ホールディングス)

(平成24年6月28日現在)

取締役社長(代表取締役)	片 山 博 臣	取締役	阪 本 彰 央	監査役(非常勤・社外監査役)	松 川 雅 典
専務取締役	米 坂 享	取締役(社外取締役)	水 野 八 朗	監査役(非常勤・社外監査役)	増 尾 穰
常務取締役	泉 清 映	監査役(常勤)	樋 口 勝 二	監査役(非常勤・社外監査役)	大 平 勝 之
常務取締役	成 田 幸 夫	監査役(常勤)	北 山 隆 一		

紀陽銀行(単体)

第202期末 貸借対照表

(平成24年3月31日現在)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	84,840	預金	3,447,037
コールローン	61,239	譲渡性預金	68,488
買入金銭債権	2,830	債券貸借取引受入担保金	84,206
商品有価証券	2,010	借入金	29,432
有価証券	1,070,999	外国為替	14
貸出金	2,546,202	社債	13,000
外国為替	1,865	その他負債	23,111
その他資産	30,766	役員退職慰労引当金	32
有形固定資産	33,945	睡眠預金払戻損失引当金	700
無形固定資産	7,101	偶発損失引当金	327
繰延税金資産	15,394	再評価に係る繰延税金負債	178
支払承諾見返	15,387	支払承諾	15,387
貸倒引当金	△ 25,664	負債の部合計	3,681,917
		(純資産の部)	
		資本金	80,096
		資本剰余金	32,357
		資本準備金	259
		その他資本剰余金	32,097
		利益剰余金	39,509
		利益準備金	2,373
		その他利益剰余金	37,136
		繰越利益剰余金	37,136
		株主資本合計	151,963
		その他有価証券評価差額金	12,587
		繰延ヘッジ損益	125
		土地再評価差額金	326
		評価・換算差額等合計	13,040
		純資産の部合計	165,003
資産の部合計	3,846,921	負債及び純資産の部合計	3,846,921

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

第202期 損益計算書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

科 目	金 額
経常収益	76,311
資金運用収益	59,170
(うち貸出金利息)	(45,463)
(うち有価証券利息配当金)	(13,402)
役務取引等収益	9,146
その他業務収益	5,317
その他経常収益	2,677
経常費用	61,275
資金調達費用	7,012
(うち預金利息)	(5,679)
役務取引等費用	4,652
その他業務費用	4,040
営業経費	37,612
その他経常費用	7,958
経常利益	15,036
特別利益	1,496
特別損失	101
税引前当期純利益	16,430
法人税、住民税及び事業税	61
法人税等調整額	7,711
法人税等合計	7,772
当期純利益	8,658

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

役員一覧(株式会社 紀陽銀行)

(平成24年6月28日現在)

取締役頭取(代表取締役)	片 山 博 臣	常務取締役	鈴 木 健次郎	監査役(常勤)	樋 口 勝 二
専務取締役	米 坂 享	取締役	鈴 木 教 秀	監査役(常勤)	北 山 隆 一
常務取締役	泉 清 映	取締役	島 慶 司	監査役(非常勤・社外監査役)	松 川 雅 典
常務取締役	松 岡 靖 之	取締役	爲 岡 英 喜	監査役(非常勤・社外監査役)	増 尾 稜
常務取締役	森 川 保 彦	取締役	今 村 裕 一	監査役(非常勤・社外監査役)	大 平 勝 之
常務取締役	成 田 幸 夫				

(平成24年3月31日現在)

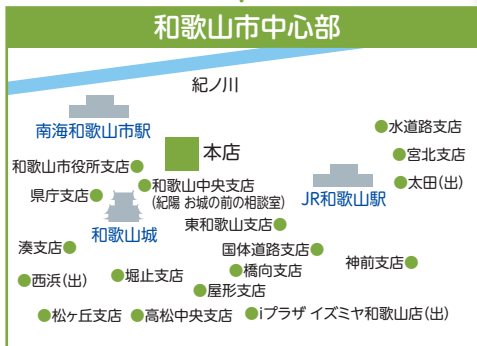
紀陽銀行は、主要営業エリアである和歌山県、大阪府を中心に107店舗を設置し、両府県にまたがる店舗ネットワークを展開しております。

また、セブン銀行、ローソンとの提携により、全国のセブン-イレブンやローソンに設置されたATMで紀陽銀行のキャッシュカードがご利用いただけます。

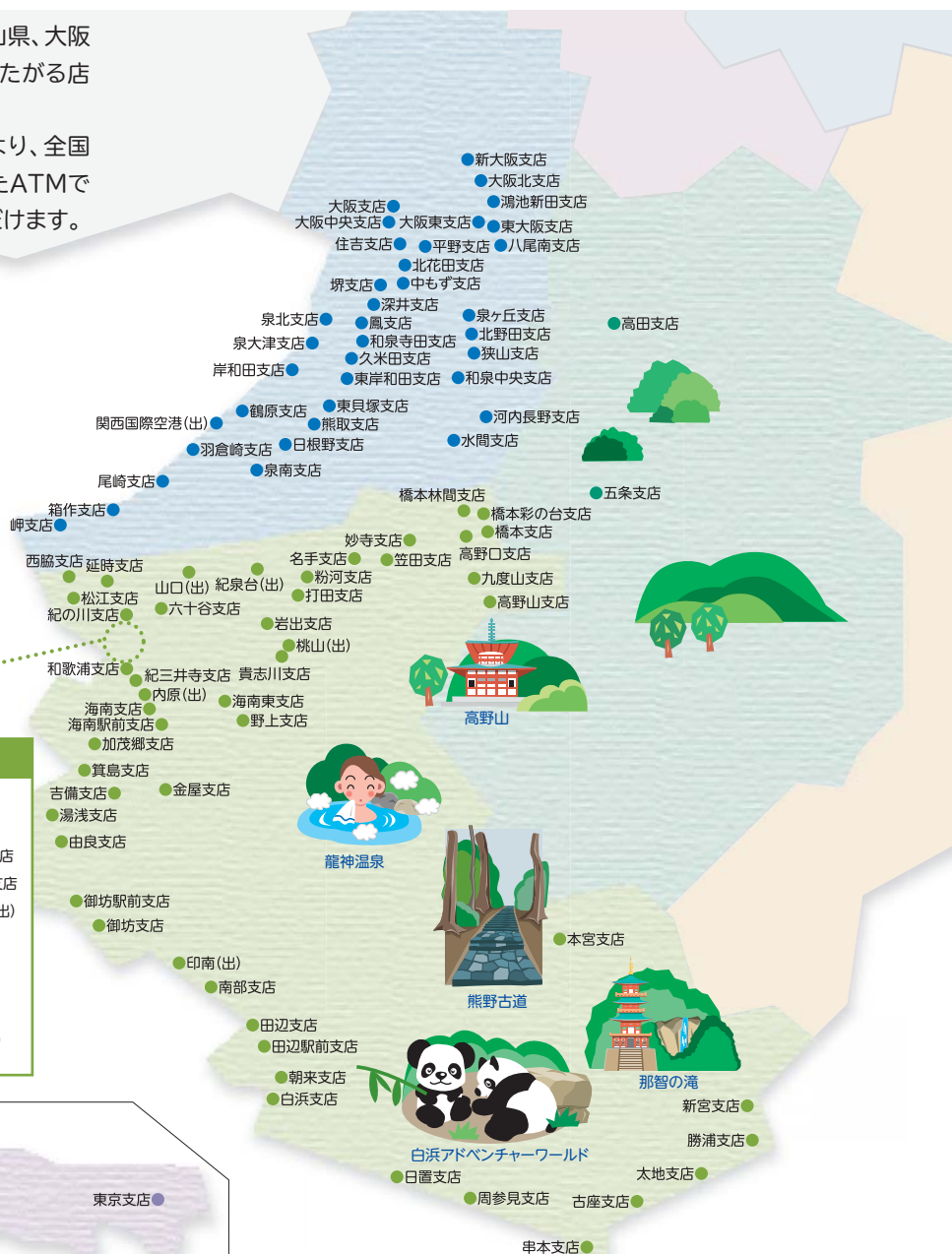
	店舗数	店舗外ATM
和歌山県	68	117
大阪府	36	42
奈良県	2	1
東京都	1	—
三重県	—	1
合計	107	161

(インターネット支店含む)

※このほか、資産運用に関するコンサルティングデスク「紀陽 お城の前の相談室」、インスタブランチ「プラザ イズミヤ和歌山店」、外貨両替専門の「関西国際空港出張所」、住宅ローンセンター(9か所)、ビジネスサポートセンター(本店内)を開設しております。



(出):出張所



株式情報

(株式会社紀陽ホールディングス・平成24年3月31日現在)

●発行済株式総数

普通株式	745,017,053株
第4回第一種優先株式	45,000,000株

●株主総数

普通株式	23,974名
第4回第一種優先株式	1名 (株式会社整理回収機構)

●配当方針

利益配分につきましては、銀行持株会社の公共性に鑑み、経営の健全性を確保するための適正な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を実現することを基本方針としています。

●株主名簿管理人

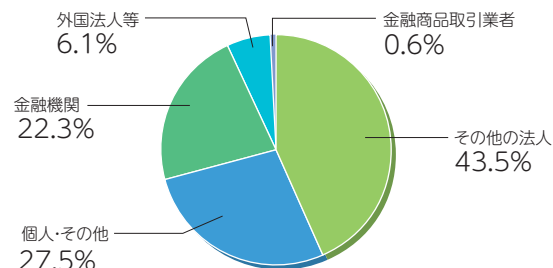
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

●株式事務取扱場所

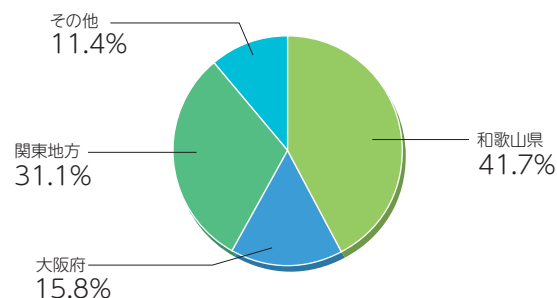
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話無料)

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化などにより、見通しと異なる可能性があることにご留意ください。

●所有者別株式分布 (平成24年3月末)



●地域別株式分布状況 (平成24年3月末)



株式に関する各種手続き

届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更につきましては、口座開設されている証券会社(証券会社に口座開設されていない株主さまは、左記の三菱UFJ信託銀行株式会社大阪証券代行部)へお届けください。

単元未満株式をお持ちの皆さまへ

1単元(1,000株)未満の株式を保有されている株主さまは、保有株式の買い取り請求または単元株への買い増し請求をしていただくことができます。詳細につきましては、左記〈株式事務取扱場所〉までお問い合わせください。

(追記) なお、手続きに必要な書類等については、当社ホームページより左記株式事務取扱場所のホームページにお入りいただき、検索することができます。

〔紀陽フィナンシャルグループHP <http://www.kyfg.com/>〕



株式会社 紀陽ホールディングス

和歌山市本町1丁目35番地

<http://www.kyfg.com/>

株式会社 紀陽銀行

和歌山市本町1丁目35番地

<http://www.kiyobank.co.jp/>

表紙写真提供：

社団法人 龍神観光協会(田辺市龍神村)

龍神温泉は高野龍神国定公園、日高川沿いに位置する温泉郷です。美肌効果が高く「日本三美人の湯」のひとつに数えられています。また、リクルートじゃらんリサーチセンターが実施する「人気温泉地ランキング2012」の全国満足度ランキング秘湯部門では、第1位に選ばれました。是非とも、和歌山へお越しの際は、お立ち寄りください。

平成24年6月発行

株式会社 紀陽ホールディングス

グループ企画部 広報・CSR推進グループ

〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地

TEL.073-426-5111

